

## 10/2 minicon10月 東京松屋ショールーム見学会「江戸からかみを深く知ろう」

### ■ 稲荷町・東京松屋ショールーム見学会 開催しました



講師は東京松屋 商品企画室の河野(こうの)氏

■日時：2018年10月2日(火)  
10:00～12:00

■会場：東京松屋ショールーム  
台東区東上野6-1-3  
東京松屋UNITY

■講師：東京松屋  
商品企画室 河野 綾子氏

■協力：株式会社 東京松屋

■ランチ会  
会場：レストラン キエチュード  
台東区東上野3-35-1 1階

東京圏支部によるシリーズ企画『健康と環境に配慮した壁装材を深く知ろう』。

第1回のシリカタイムに続き(7月)、第2回は「東京松屋」ショールームにてセミナー&見学会を開催しました。

「江戸からかみ」は和紙に様々な装飾を施して作られた工芸品で、唐紙師(からかみし)・更紗師(さらさし)・砂子師(すなごし)の三つの加飾技法をもって、「江戸からかみ」と称するようになったそうです。始めに、江戸からかみの製作工程VTRを視聴。唐紙師・砂子師・更紗師それぞれの見事な手仕事と、様々な技法を駆使して出来上がっていく様子に一同見入りました。続いて商品企画室の河野(こうの)氏から実例をご紹介頂き、浜離宮や岩崎邸、成田国際空港到着コンコース等の写真を見せて頂きました。また、和紙のもつ「健康と環境」に関する特性についてレクチャーを受けました。

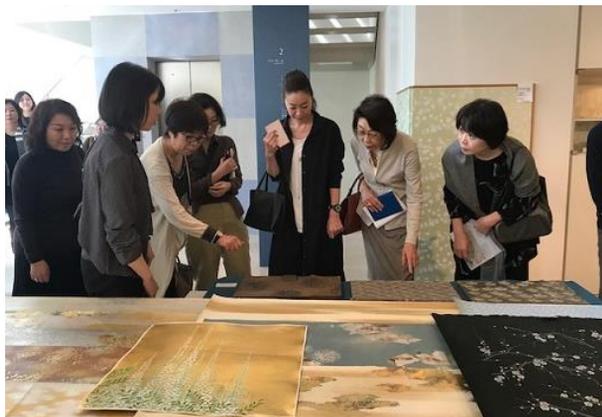
ショールームでは、VTRに登場した版木や洗型紙、絵付け用材料の展示を見たり、実際に販売されている商品を見学しました。京で好まれる柄と江戸で好まれる柄に違いがあるというエピソードは興味深いものでした。

アンケートでは「価値を再発見した、様々な使い方ができそう、取り入れてみたい」等の声が寄せられました。

今回特別に東京松屋の所有賃貸物件の1室を見学することが出来ました。すっきりとモダンなインテリアの中で、障子や間仕切り建具、天井のアクセント貼に和紙が使われ、空間に柔らかさや優しさを与えている印象でした。

終了後は、近隣のフレンチレストランでランチ会をし、秋メニューに舌鼓をうち、会員どうして話も弾み交流を深めました。

第3回は来年2月に開催予定です。



版木の見学。熱心に見入っていました。



ショールーム4階にある和室の前で記念撮影